

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成28年3月3日)

項目	ページ
1 「鳥取県産きぬむすめ」の3年連続特A取得について 【生産振興課】	1

農 林 水 産 部

8
7

8
7

「鳥取県産きぬむすめ」の3年連続特A取得について

平成28年3月3日
生産振興課

2月25日に日本穀物検定協会が公表した平成27年産米の食味ランキングで、「鳥取県産きぬむすめ」が3年連続「特A」評価を取得しましたので、概要について報告します。

1 食味ランキングの概要

(1) 本ランキングは日本穀物検定協会が毎年実施しているもので、「鳥取県産きぬむすめ」が3年連続で最高評価の「特A」評価を取得した。

(産地)	(品種名)	平成27年度 ランク	平成26年度 ランク	平成25年度 ランク	【参考】 H27作付面積(比率)
鳥取	コシヒカリ	A	A	A	5,256ha(42%)
	ひとめぼれ	A	A	A	3,406ha(27%)
	きぬむすめ	特A	特A	特A	2,811ha(23%)

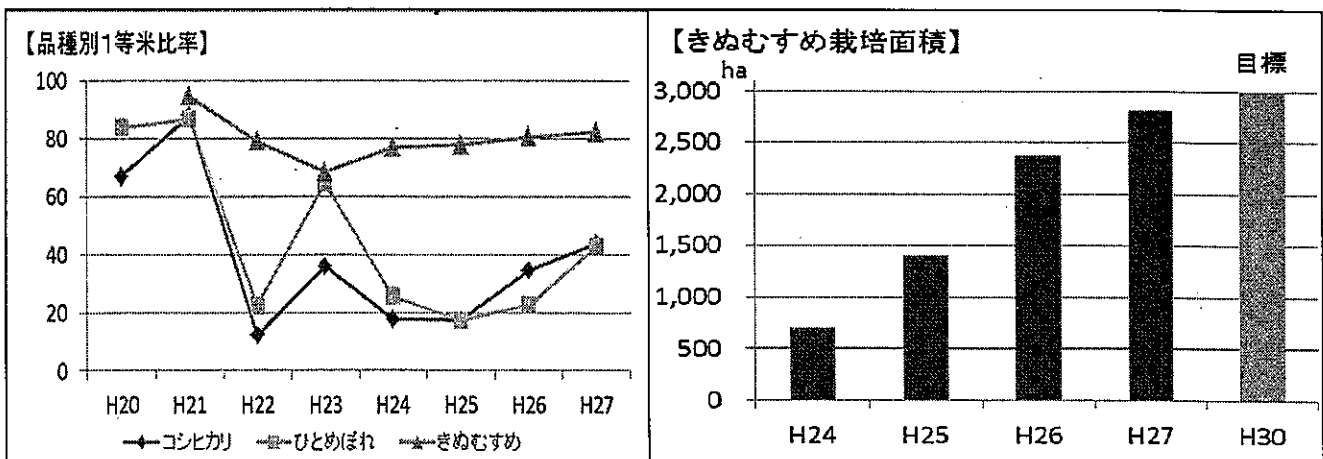
(2) 「きぬむすめ」での3年連続「特A」取得は全国でも本県のみで、今後、食味・品質の高位安定化によるブランド確立に向けた取組を強化していきたい。

※「きぬむすめ」は、本県以外に島根、岡山、山口、兵庫で出品され、本県以外では山口が初めての「特A」評価を取得している。

【参考：全国の「特A」取得状況】 出品銘柄数 139銘柄（H26：133銘柄）
 特A銘柄数 46銘柄（H26：42銘柄）
 うち、中四国 4銘柄（H26：4銘柄）
 3年連続 → きぬむすめ（鳥取県）
 2年連続 → つや姫（島根県）
 初取得 → きぬむすめ（山口県西部）、ヒノヒカリ（広島県）

2 本県における生産状況

「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」の品質低下が問題となる中、品質・収量とも安定して高い「きぬむすめ」の評価が高まり、面積は年々増加（H27：2,811ha）してきており、H30目標の3,000haを前倒して達成しそうな勢いである。



3 今後の対応

2月9日に設立した「鳥取県産きぬむすめブランド化推進協議会」を中心に、生産・販売の両面から、ブランド化に向けた取組を推進する。

- (1) 生産面では、3年連続「特A」評価にふさわしい食味・品質を安定的に確保するため、JA、県が連携し、食味・品質の高位安定化技術の確立と早期普及を目指す。
- (2) 販売面では、百貨店等の実需者のニーズに合った商品開発、メディアを活用した首都圏でのPR等の対策を進め、認知度向上とブランド化を推進する。

